

IV 技術委員会の事業報告

1. 概要

1.1 技能検定委員会との情報交換

技能検定委員会と技術委員会の役割分担を明確にした結果、技術委員会では技能検定対応講習会を密度の高い講習内容にすべく、講師会等で講習内容を検討してきた。各支部で開催した講習会から提起された問題点・課題及び技能検定委員会から提起された課題・問題点等の情報を共有し協議した。

1.2 技能検定試験対応講習会

技術委員会はこれまで一貫して、ばね技能者向けの人材育成事業を軸に諸活動を実施してきており、その中心となるのは金属ばね製造技能士の育成強化である。

技能検定委員会との協議内容を盛り込む等の改善を行いながら、技能検定試験の合格支援教育を実施しており、成果も上がっている。

平成27年度の技能検定試験は全国で565名が受検し、274名の技能士が誕生した。初回の昭和60年からの技能士累計取得者は5,493名となった。

1.3 優良ばね製造技能者表彰

平成27年度の技能検定試験合格発表後に会員各社から推薦を受け63名が認定を受けるため平成28年5月11日の理事会に上程された。

	プラチナ賞	金賞	銀賞	合計
東部支部	2	8	12	22
中部支部	7	8	2	17
西部支部	5	12	7	24
合計	14	28	21	63

本年度も昨年同様の「プラチナ賞6名以上、金賞15名以上、銀賞30名以上」の目標を掲げ活動を推進した。プラチナ賞、金賞は昨年に続き目標を達成したが、銀賞は目標を達成できなかった。

1.4 ばね技術講習会

ばね設計技術の向上のため、ばね技術講習会を各支部で実施している。

支部ごとにそれぞれのニーズも考慮したテーマを設定して取り組み、ばねの基礎技術、ばねの原価と製造工程、中級設計技術、熱処理、品質管理などの講習会を開催した。

1.5 日本ばね学会への委託テーマ

圧縮コイルばねの温間へたりに関する研究（前年度からの継続テーマ）

2. 技術委員会等開催実績

会議	日程・開催場所	議案等
第1回 委員会	平成27年7月21日 東京・品川べつどころ	1.委員の確認・新委員の挨拶 2.技能検定委員会報告及び各支部活動状況報告 3.「ばねハンドブック」改訂に関する報告と進め方の審議
第2回 委員会	平成27年11月25日 東京・工業会会議室	1.委員の確認・新委員の挨拶 2.技能検定委員会報告及び各支部活動状況報告 3.「ばねハンドブック」改訂見直し範囲と分担に関する審議

会議	日程・開催場所	議案等
学会・工業会 技術連絡会	平成28年2月18日 東京・工業会会議室	1. 前回議事録確認 2. 学会・委員会活動報告 3. 工業会・技術委員会、技能検定委員会、標準化会議の活動報告 4. 研究・委託テーマ進捗状況

V 標準化会議の事業報告

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づく積極的な規格原案作成活動を進めた。国内標準化活動では、JIS 2規格の新規制定及び改正発行ができた。JSMA規格も例年並みに改正発行を進め5規格が発行できた。一方国際標準化活動では、11月に第11回ISO/TC227ばね国際会議をクアラルンプールで開催した。Pメンバ12か国中、8か国約40名が参加した。日本から提案した「皿ばね第1部：計算式」は、国際会議後にCD投票に入り可決され次段階のDIS段階への移行が見えてきた。一方「皿ばね第2部：技術仕様」はCD段階にあり、今後欧州を初めとする各国とさらに論議を重ねていく状況にある。

2. 会議の開催

会 議	日程・場所	主な議案
第1回 標準化会議	平成27年6月18日 東京・機械振興会館	1.国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2.ISO/TC227ばね活動報告及び審議
第2回 標準化会議	平成27年10月6日 東京・機械振興会館	1.国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2.ISO/TC227ばね活動報告及び審議
第3回 標準化会議	平成28年2月10日 東京・機械振興会館	1.国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2.ISO/TC227ばね活動報告及び審議 3.今年度活動の総括と来年度活動計画審議

3. 活動の詳細

3.1 国内規格関係

3.1.1 JIS規格関係

12月にB0156「ばね記号」の新規制定及びB0103「ばね用語」の改正発行があった。「ばね記号」はISO規格16249 Springs-Symbolsが平成25年春発行されたことに伴い整合化を図った。全部で85の記号をJIS化した。なおISO規格では τ をせん断未修正応力で規定している。国内では従来から τ をせん断修正応力で記号化しており、市場の混乱を避けるためせん断未修正応力は τ_0 、せん断修正応力は τ_c (タウカッパ)とした。「ばね用語」には、記号を定義した例えばばね定数などの30記号が含まれているため参考欄に記号欄を設けてその該当記号(ばね定数の場合はR)を表示した。また全体の見直しも行い、全部で431の用語を規格化した。

3.1.2 JASO規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に参加し、小改正作業及び分科会活動等を進めた。今年度はJASO F302「波形ばね座金」改正原案作成作業を10月まで行い、12月に審議承認された。規格発行は来年度になる。

3.1.3 JSMA規格関係

今年度は以下に示す5規格の改正原案作成作業を進めた。SA005「熱間成形圧縮コイルばね」、SB005「線細工ばね(ワイヤフォーミング)の普通寸法公差」及びSB009「コイルドウェーブスプリング」を平成28年3月に、SC001「溝付き及び二重巻きスプリングピン」を12月に、SD009「ねじりコイルばねのねじりモーメント測定方法」を9月にそれぞれ改正発行した。

3.2 ISO規格関係

3.2.1 第11回クアラルンプール国際会議

日本からは相羽国際幹事以下9名が出席した。11月12日、13日の2日間開催され、1日目はワーキンググループ会議、